

## 地球温暖化対策実施状況報告書

2025年 7月 30日

(提出先)

横浜市長

住所 神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地

氏名 株式会社日新  
代表取締役社長 筒井 雅洋

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり提出します。

### 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の名称 及び代表者の氏名	株式会社日新 代表取締役社長 筒井 雅洋		
主たる事業所の所在地	神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地		
主たる事業の業種	大分類	H 運輸業、郵便業	
	中分類	4 8 運輸に附帯するサービス業	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 条例第144条の4該当事業者（任意提出事業者）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	原油換算エネルギー使用量	1,904 k1	市内全事業所数 21 事業所
			原油換算エネルギー使用量が500k1以上の事業所数 1 事業所
自動車の台数	台		

### 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2022 年度～2024 年度	実施年度	2024 年度
------	-----------------	------	---------

### 3 公表の方法

<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ	アドレス	https://www.nissin-tw.com/
<input type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所	
	所在地	
	閲覧可能時間	
<input type="checkbox"/> その他		

4の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

		特定温室効果ガス排出量		削減率		原単位			
基 準 年 度 (2021年度)	基礎	3,707 t-CO <sub>2</sub>		6.24 t-CO <sub>2</sub> /人					
	調整後	3,839 t-CO <sub>2</sub>							
目 標 年 度 (2024年度)	基礎	3,669 t-CO <sub>2</sub>		1.0 %	6.17 t-CO <sub>2</sub> /人				
	調整後	3,800 t-CO <sub>2</sub>		1.0 %	削減率	1.1 %			
第 一 年 度 (2022年度)	基礎	3,403 t-CO <sub>2</sub>		8.2 %	5.51 t-CO <sub>2</sub> /人				
	調整後	3,704 t-CO <sub>2</sub>		3.5 %	削減率	11.8 %			
第 二 年 度 (2023年度)	基礎	3,542 t-CO <sub>2</sub>		4.5 %	5.88 t-CO <sub>2</sub> /人				
	調整後	3,881 t-CO <sub>2</sub>		▲ 1.1 %	削減率	5.7 %			
第 三 年 度 (2024年度)	基礎	4,188 t-CO <sub>2</sub>		▲ 13.0 %	6.23 t-CO <sub>2</sub> /人				
	調整後	2,139 t-CO <sub>2</sub>		44.3 %	削減率	0.1 %			
目標の進捗及び達成状況の説明 (2024年度)	達成状況	<input type="radio"/> 目標を達成できた <input checked="" type="radio"/> おおむね目標通り <input type="radio"/> 目標を達成できなかつた							
	要因	省エネ取組	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし						
		事業活動量	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> ほぼ変動無し	<input type="radio"/> 減				
		自由記述欄	当社の冷蔵倉庫である大黒埠頭倉庫営業所において、機器の電磁波のノイズを除去して電力ロスを抑止し、機器の運用効率を向上させる省エネ機材を導入し、使用電力を削減。						

4の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

		特定温室効果ガス排出量		削減率		原単位			
基 準 年 度 (2021年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub> /					
	調整後	t-CO <sub>2</sub>							
目 標 年 度 (2024年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>		%	t-CO <sub>2</sub> /				
	調整後	t-CO <sub>2</sub>		%	削減率	%			
第 一 年 度 (2022年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>		%	t-CO <sub>2</sub> /				
	調整後	t-CO <sub>2</sub>		%	削減率	%			
第 二 年 度 (2023年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>		%	t-CO <sub>2</sub> /				
	調整後	t-CO <sub>2</sub>		%	削減率	%			
第 三 年 度 (2024年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>		%	t-CO <sub>2</sub> /				
	調整後	t-CO <sub>2</sub>		%	削減率	%			
目標の進捗及び達成状況の説明 (2024年度)	達成状況	<input type="radio"/> 目標を達成できた <input type="radio"/> おおむね目標通り <input type="radio"/> 目標を達成できなかつた							
	要因	省エネ取組	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし						
		事業活動量	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> ほぼ変動無し	<input type="radio"/> 減				
		自由記述欄							

## 5 クレジットに関する取組状況

番号	クレジットの名称	特定温室効果ガス削減相当量 [t-CO <sub>2</sub> ]	オフセット対象範囲
1	電気の非化石証書	2,049	市内事業所20カ所（大黒埠頭倉庫除く）のScope2
2			
3			
4			
5			

## 6 再生可能エネルギー利用設備の稼働状況

番号	設備機器の種類	導入年度	設備機器の性能	発電等の実績	単位
1	太陽光発電	24 年度	設置総出力 44kw	49593	kWh
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

## 7 次世代自動車の導入状況

次世代自動車の種別	電気自動車	プラグインハイブリッド車	燃料電池自動車	合計
導入台数[台]	0	0	0	0
保有台数[台]	0	0	0	0

## 8の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）（その1）

重点対策	対策の内容	対象設備	対策状況		備考
			①管理基準等の	②実施状況	
1 推進体制の整備	① 本社等が中心となり、支店等と連携して、地球温暖化対策を推進する管理体制を整備している。 ② ①の体制に基づき、定期的に地球温暖化対策に関する計画立案、進捗確認等の会議等を実施している。		● 整備済 ○ 一部整備済 ○ 未整備 ○ 非該当	● 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	
2 エネルギー使用量の把握	① エネルギー種類別（電力、ガス、蒸気、圧縮空気等）の使用量の記録、保管等についての管理基準を設定している。 ② ①の情報を元に、現状把握、過去との比較検証を実施している。		● 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ○ 非該当	● 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	
3 事務用機器の管理	① 事務用機器（パソコンコンピュータ、プリンタ、コピー機、ファクシミリ等）の待機電力削減の取組、省エネモード設定等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	事務用機器	● 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ○ 非該当	● 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	
4 受変電設備の力率の管理	① 受電端における力率は、95パーセント以上とすることを基準として進相コンデンサ等を制御するように管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	受変電設備	● 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ○ 非該当	● 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	
5 照明設備の管理	① 事業活動に適した点灯時間、点灯エリア、照度等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	年間2,000時間以上点灯する照明設備	● 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ○ 非該当	● 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	
6 空調設備の管理	① 空調を施す区画を限定し、外気条件変動等に応じた設備の運転時間、室温、湿度等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	空調設備	● 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ○ 非該当	● 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	
7 空調用冷凍機の管理	① 外気条件変動等に応じた冷却水温度や圧力等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	空調用冷凍機	● 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ○ 非該当	● 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	
8 換気設備の管理	① 換気を施す区画を限定し、外気条件変動等に応じた換気量、運転時間等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	換気設備	● 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ○ 非該当	● 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	
9 フィルターの清掃	① 空調設備、換気設備のフィルターの点検、清掃についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	空調設備 換気設備	● 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ○ 非該当	● 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	
10 ボイラーの管理	① 過剰な蒸気の供給及び燃料の供給をなくし適正に運転するため、蒸気の圧力、温度及び運転時間についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	ボイラー	○ 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ● 非該当	○ 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ● 非該当	

## 8の1 重点対策の実施状況及び計画（第1号及び第2号該当事業者）（その2）

重点対策	対策の内容	対象設備	対策状況		備考
			①管理基準等の	②実施状況	
11 蒸気配管等の管理	① ボイラー設備の配管、バルブ等の保温及び断熱の維持、蒸気の漏えい、詰まりの防止等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	ボイラー	○ 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ● 非該当	○ 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ● 非該当	
12 燃焼設備の空気比管理	① 燃焼設備及び使用する燃料の種類に応じて、排出ガスにおける空気比の値が基準空気比※以下になるような、空気比についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	ボイラー 工業炉	○ 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ● 非該当	○ 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ● 非該当	
13 ポンプ、ファン、ブロワー及びコンプレッサの負荷に応じた運転管理	① 使用端圧力及び吐出量を把握し、負荷に応じた運転台数制御、回転数制御等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	ポンプ ファン ブロワー コンプレッサ	○ 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ● 非該当	○ 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ● 非該当	

※ 基準空気比とは、工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断の基準（平成21年経済産業省告示第66号）の別表第1（A）に規定するものをいう。

## 8の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	対策の内容	対策状況		備考
		①管理基準等の	②実施状況	
14 推進体制の整備	① 本社等が中心となり、支店等と連携して、地球温暖化対策を推進する管理体制を整備している。 ② ①の体制に基づき、定期的に地球温暖化対策に関する計画立案、進捗確認等の会議等を実施している。	○ 整備済 ○ 一部整備済 ○ 未整備 ○ 非該当	○ 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	
15 自動車の適正な使用管理	① 目的地までの燃料消費量、所要時間等を考慮した効率的な走行ルート等の情報を運転者に伝える仕組みを整備している。 ② ①の仕組みを活用した運用を実施している。	○ 整備済 ○ 一部整備済 ○ 未整備 ○ 非該当	○ 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	
16 エネルギー使用量等に関するデータの管理	① 自動車ごとの走行距離、エネルギー消費量等のデータの定期的な記録等についての管理基準を設定している。 ② ①の情報を活用した運用を実施している。	○ 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ○ 非該当	○ 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	
17 エコドライブ推進体制の整備	① エコドライブ推進に関する責任者を設置し、エコドライブの実施及びエコドライブ講習等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	○ 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ○ 非該当	○ 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	
18 自動車の適正な維持管理	① 日常の点検・整備に係る責任者を設置し、点検、整備及び点検・整備に必要な知識や技術を習得するための研修等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	○ 設定済 ○ 一部設定済 ○ 未設定 ○ 非該当	○ 実施済 ○ 一部実施済 ○ 未実施 ○ 非該当	

## 10 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

(実施年度に行った対策にチェックし、補足説明は下部に記載)

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/>            | 水道及び工業用水道の使用量削減に係る対策                      |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策                       |
| <input type="checkbox"/>            | 貨物等の運搬等のために他者の自動車を利用している場合の対策             |
| <input type="checkbox"/>            | 従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導策等、公共交通機関の利用促進に関する対策 |
| <input type="checkbox"/>            | 地域における環境教育の実践                             |
| <input type="checkbox"/>            | 市域の緑地保全に関する取組                             |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 省エネ型商品又はサービスの開発等、事業活動の特性を活かした対策           |
| <input checked="" type="checkbox"/> | その他地球温暖化の防止に係る対策（エネルギーを使用しないもの）           |
- ・産廃マニフェストの運用管理の徹底及び産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出  
・グリーン経営証書の取得  
・グリーン購入の推進（社内購買システムによりグリーン購入法適合商品の推奨）  
・輸送に使用する梱包資材をリターナブルケースに転換する取組みの促進。  
・社用車（連絡車、事業用車両）をエコカーへの切り替えを促進。

## 11 特記事項

- ・神奈川埠頭倉庫：23年に太陽光パネルを設置し、年間50,000kwhを発電。
- ・横浜市風力発電（ハマウイング）に協賛
- ・横浜SDGs認証制度「Y-SDGs」最上位のSupreme（スプリーム）認証取得
- ・神奈川「かながわSDGsパートナー」に登録
- ・国土交通省港湾局「みなどSDGsパートナー登録制度」に登録

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	京浜支店 大黒埠頭倉庫営業所					
事業所等の所在地	鶴見区大黒ふ頭6					
延床面積	14,325	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	796	k1	事業所等の区分
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有(オーナー)		倉庫